

お手にとって頂きありがとうございます。平田真実と申します。  
市議会議員は税金の使い道について議論し、議会でその可否を最終決定しています。

議員の報酬も市民の皆様の税金です。

よって、見える議員活動を目指すことは責務であると考えており、  
限られた部数ではありますが、特定の方に向けた活動ではなく、

市民の皆様へ少しでも議員の活動が伝わるよう、

自主作成・自費発行・自らの足で、ポスティングしています。

経費削減の為、封筒等は使用せずポスト投函させて頂きます。

ご理解の程よろしくお願い致します。

作成日 2021/7



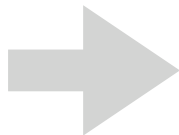
## DX (デジタル・トランスフォーメーション)

DXとは、IT技術を浸透させ、制度や組織を変化させ、人々の生活をより良いものに変革させるということだと私は理解しています。

経済産業省が2018年にDXを推進するためのガイドラインを取りまとめたことをきっかけに、民間企業では急速にDXの推進が図られ、現在では自治体でも同様にDXの推進が求められています。小野市でも、急速に発展するICT技術を行政運営に取り入れ、更なる市民満足度の向上と、行政の効率化を目指すため、積極的にデジタル化方策を検討しておられます。

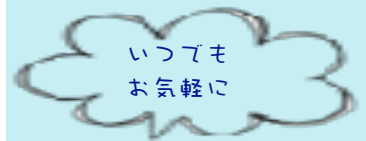
今後、DX推進プロジェクトを立ち上げ、具体的な検討に入られます

デジタル化推進調整会議  
マイナンバーカードの普及  
を始めとしたデジタル化に  
ついての会議



DX推進プロジェクト  
暮らしとサービスが変わる  
仕事と働き方が変わる  
お知らせ方法が変わる

3つの  
理念



いつでも  
お気軽に

メールやSNSのメッセージ等で、小野市内での生活のお困りごとなど、幅広くご意見をお受けしています。

SNSのアカウントはできるだけ開設していますが、確認が遅れることもあります。

お急ぎの場合は、下記のメールまでお気軽にご連絡ください。

お問い合わせ先

hiratamami0128

@gmail.com

メール等でやりとりをさせて頂いたのち、直接お会いする必要がある場合は、ご相談させて頂きます。

まずはメールやメッセージでのご連絡をお待ちしております。

## 不妊治療ペア検査について

兵庫県では令和3年度より、不妊治療ペア検査助成事業を行っています。夫婦で不妊治療の検査を受けると、検査費用の一部が助成されるものです。不妊の要因が男性に起因することも当然ながらありますが、女性が一人で不妊治療に取り組むケースが多いため、夫婦で一緒に検査を受けることを促す制度です。県のこの制度を活用し、市で事業を実施して初めて、小野市民の皆様が利用できる制度ですが、残念ながら現在小野市ではこの事業を行っていないため、市民の皆様がこの助成を受けることはできません。一般質問で、小野市でも事業実施すべきではと質し、当局からは小野市での必要度を調査していくとの答弁がありました。



他の議員の  
質問もご覧頂  
けます

一般質問は  
こちらから





小野市議会は女性議員が増えてどう変化した？

提案や質問の幅が広がっています



小野市議会は、16名中7名が女性議員（43.8%）です。兵庫県内市町の女性議員比率の平均は17.5%で、小野市は現在、県内トップの女性議員比率となっています。

女性議員が増えたことにより、女性の立場で感じる課題への提言や質問も増えています。妊婦健康診査や生理など女性が当事者となる課題については、男性議員ばかりではなかなか議論に挙がらないのではないのでしょうか。性別だけでなく、様々な年齢の議員や様々なバックグラウンドを持った議員がいることが重要だと感じます。当事者だからこそ気が付く視点や、挙げられる声があるからです。全国の市議会議員の平均年齢は59.6歳で、30歳未満は0.3%、30歳代は4.9%です。若い方やハンディキャップをお持ちの方が立候補し、議員として活動しやすい環境を整えられるような議論が今後も必要だと考えています。

## 大切なお知らせ

いつも勝手ながら、この広報を投函させて頂いています。皆さまの寛大な日々のご配慮に、心より感謝申し上げます。今回は改めて、この広報を作成し、配布する理由をお伝えさせていただきます。

「議員は市民に見える活動をすべき」だと私は考えています。それは、私個人の支援を願う思いではなく、皆さまが納められた税金から報酬を頂き、議員は活動しているからです。

小野市議会では公的な発行物として「小野市議会だより」がありますが、それだけでは活動や考えが伝えきれないため、活動報告を作成・配布しています。ポストに「無断投函禁止」の表示がある方、ポストの場所がわからないケースなど、投函できていないこともございますが、ご支援される政党や議員等がおられる可能性があるお宅にも、前述した考え方により投函させて頂いております。

ご支援される方がいらっしゃっても、他の議員がどのような人間か少しでも知る手段の一つとして、この広報を手にとって頂きたいところですが、どうしても投函しないで欲しいと思われる場合は、下記のメールアドレス宛に、必ずご住所と表札の苗字をご明記の上、投函不要のご連絡をお願い致します。確認が取れましたら、今後投函を控えさせていただきます。[hiratamami0128@gmail.com](mailto:hiratamami0128@gmail.com)

この広報は平田真実後援会の発行で、小野市や小野市議会の発行ではございません。責任は後援会にありますので、市や議会に上記のご連絡をされることのないようご注意をお願い致します。

この活動でも充分に見える活動ができているとは思っておらず、「議員は何をしているかわからない」と思われる方も多いと思います。できる限りの努力で今後も精進して参りますので、どうかご理解の程よろしくお願い致します。



<https://hiratamami.com/news/>

活動報告を更新しています！



討議資料